

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和7年度

政策	5. きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)	SDGs									
施策	3. 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開										

施策で目指す姿

●多様化・複雑化する市民ニーズに対して、効率的かつ効果的なサービスを提供するため、産官学等が一体となった課題解決を推進します。
●行政区域を超えた近隣自治体等との連携を深め、広域的な視点に立って共通課題の解決に取り組みます。また、霧島ジオパークを構成する地域の持続可能な発展を目指し、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動を推進します。
●市民参加型の情報発信の強化など、市民と一体となったまちづくりや魅力の発信に取り組みます。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 産官学との連携の推進	決算額	34千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
包括連携協定を活用した講座の開催や行政情報の発信、教育機関と連携した地方創生に関する講義など、産官学それぞれの強みを生かした取組を推進した。また、ふるさと創生有識者会議において総合戦略の進捗状況等を報告し、多様な視点から意見や提言を得るなど、地域課題の解決に向けた連携を進めた。	包括連携協定を締結している団体との連携について、各分野の地域課題に応じた具体的な取組へつなげる必要がある。また、多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に対応するため、既存の連携強化に加え、新たな連携先や連携分野の開拓を進める必要がある。	包括連携協定先や関係部局との定期的な情報共有・協議を通じて、社会情勢の変化や地域課題に応じた取組の具体化と連携体制の強化を図る。また、庁内各課と協定先との連携を支援するとともに、新たな連携先や連携分野の開拓を進め、継続的かつ実効性のある産官学連携を推進する。
2. 広域的な連携の推進	決算額	7,234千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
錦江湾奥会議では、各分野の連携した取組や要望活動に加え、観光分野でサイクルツーリズム「錦江湾奥ルート」を掲載した観光パンフレットを作製し、併せて誘客プロモーションを実施した。霧島ジオパーク推進連絡協議会では、民間団体等と連携しジオの魅力・特性を活かした観光・防災・保全等の多種多様な事業を展開するとともに、全国大会では、活動事例を発表するなど、他ジオパークとのネットワーク強化を図った。その他、桜島・錦江湾ジオパークとのエリア統合については、今後の展開を踏まえプロセス項目の見直しや関係者アンケートを実施した。	錦江湾奥会議において、防災面では火山災害を想定した広域連携の強化、環境面では自然環境の保全に向けた意識啓発、観光面では周遊促進に向けた受入環境の整備について、継続して取り組む必要がある。 日本ジオパークエリア拡大認定時に指摘のあった課題に対し、解決できていない事案がある。また、桜島・錦江湾ジオパークとのエリア統合については、整理した目的と効果について関係者や地域の方々の意見を参考に検討する必要がある。	錦江湾奥会議において、防災面では広域的な連携の強化を、環境面では啓発活動や学習機会の充実を、観光面ではデジタルスタンプラリー等による周遊促進や誘客活動の強化を図る。日本ジオパークエリア拡大認定時に指摘のあった課題等に対する取組方針を示した「霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン2023-2026」に基づき取り組みを推進する。また、ユネスコ世界ジオパーク認定を見据えた、桜島・錦江湾ジオパークとの統合について検討を進める。
3. シティプロモーションの推進	決算額	11千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
11月7日を中心とした「イイなの日」において、SNSや広報紙等による情報発信のほか、地元ホテルと連携したホテル窓文字によるシビックプライドの醸成、企業及び団体と連携したキシマイスターの取組や各種イベントでの観光宣伝など、本市の魅力を高める取組が実施できた。	まち全体で歓迎の機運につながる取組が求められる中、現行のキシマイスターの役割が市民に十分伝わっていない。 このため、まちの魅力づくりに繋げるため、定義の見直しなどを図る必要がある。	市民に分かりやすい取組内容を目指すため、現行のキシマイスター事業を見直しながら、市民のまちへの愛着を高めるコンセプト作りを行っていく。大手旅行会社などが保有するデータを活用して、市民ニーズをとらえた本市の魅力を高める商品開発やSNS等も活用した情報発信を行う。

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
82. 産官学連携により取り組んだ件数	包括連携協定に基づき、企業等と連携して取り組んだ事業数(N-1)	29件	80.00%	大雨災害により予定していた講座やイベントが中止になり、取組み件数が減少。
		30件	↑	
83. 広域連携により実施した事業件数(累計)	錦江湾奥会議と霧島ジオパーク推進連絡協議会で実施した事業件数(N-1)	104件	1025.00%	錦江湾奥会議4専門部会で取り組みを行った。霧島ジオパーク推進連絡協議会では、既存事業の充実を図ったほか、新規事業にも取り組んだ。
		30件	↑	
84. 霧島市が住みやすいと感じる市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		82%	↑	
85. 霧島市に住みたいと感じる市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		83%	↑	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
●多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に対応するため、産官学等との連携を一層推進するとともに、社会情勢の変化や地域課題に応じた新たな連携の構築や連携の充実を図る。 ●錦江湾奥会議の枠組みにおいて広域的な視点に立った課題解決に取り組むほか、ユネスコ世界ジオパーク認定に向け、「霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン2023-2026」に基づく取組を推進する。 ●市民がまちの魅力を感じるきっかけづくりや情報発信に取り組みながら、市民がまちへの愛着を深められるよう、効果的な方策を調査・研究する。

施策幹事課	関係課
企画部企画政策課	市長公室ジオパーク推進課 / 企画部地域政策課 / 市民環境部環境衛生課 / 農林水産部耕地課 / 商工観光部観光PR課